

本気でやるから面白い。

輝く高校生⑰

スポーツなどに取り組む高校生を紹介します。



県立白根高等学校 凧部 宮本 碧依さん(3年生)=写真左=	将来の夢/動物に関わる仕事 好きな科目/日本史
同校 同部 羽入 瑞輝さん(1年生)=写真右=	将来の夢/白根の大凧を世界中に広める 好きな科目/美術

大凧合戦での優勝を目指して

白根大凧合戦が開催される南区にある同校には、全国的にも珍しい凧部があります。「小学生の時に出了大凧合戦でみんなと力を合わせて優勝した時の嬉しく楽しい気持ちが忘れられず、入学したらずぐに入部しました」と宮本さん。「3歳の頃、父から合戦に参加する全組のたこの絵をもらったのが、白根の大凧との出会いです」と今年入部した羽入さん。

現在は6月6日から10日に開催される大凧合戦に向け、地元の人から指導を受けながら練習に励んでいます。昨年は風が強く合戦がなかなかできなかったそうです。「今年は合戦で勝ちみんなで喜びたいです」と宮本さんと羽入さんは語ってくれました。合戦以外では、地域の子もたちのたこ揚げイベントを手伝い、たこの魅力を伝え、南区を盛り上げています。

連載

未来への扉⑦



図書館司書がおすすめする、子ども・子育て世代向けの本を紹介します。
問 西川図書館 (☎0256-88-0001)



『としょかんライオン』

作：ミシェル・ヌードセン 絵：ケビン・ホークス
訳：福本 友美子 出版社：岩崎書店 発行年：2007年
市内図書館所蔵数：26冊



あらすじ

この図書館は、みんながさまざまな決まりを守りながら利用しています。ある日突然1頭のライオンがやってきました。しかし、図書館にはライオンが来てはいけないという決まりはありません。そこでメリウエザー館長はライオンを受け入れ、決まりを破ったときにだけ注意をしました。それからライオンは何度も来るようになり、図書館の仕事を手伝うようになりました。みんながライオンに慣れた頃、館長が踏み台から落ちてしまいます。

おすすめポイント

登場人物たちは、最初はライオンを怖がります。しかし、そんな人たちがライオンを受け入れていく姿や、ライオンが決まりを守って仕事を手伝う姿に胸が温かくなります。館長が倒れてしまう場面では、決まりについて考えてしまいます。決まりとは何なのでしょう。図書館を舞台にライオンと周りの人たちの交流を通して、決まりについて考えさせてくれる絵本です。

整備が進む

新潟駅万代広場

3月31日に新潟駅バスターミナルが開業するなど、整備を進めている駅周辺について、今後の整備イメージをお知らせします。
問 新潟駅周辺整備事務所 (☎025-245-1261)

スマートフォンはこちらから



令和7年度末に完成予定の万代広場は、旧広場の約2倍の面積があります。「人・交通・自然が気持ちよく循環する都市の庭」をコンセプトに、交通結節点としての機能に加え、イベントスペースや緑あふれ人々が憩い集うことができる里山をイメージした空間を整備していきます。



▲東大通上空から望む

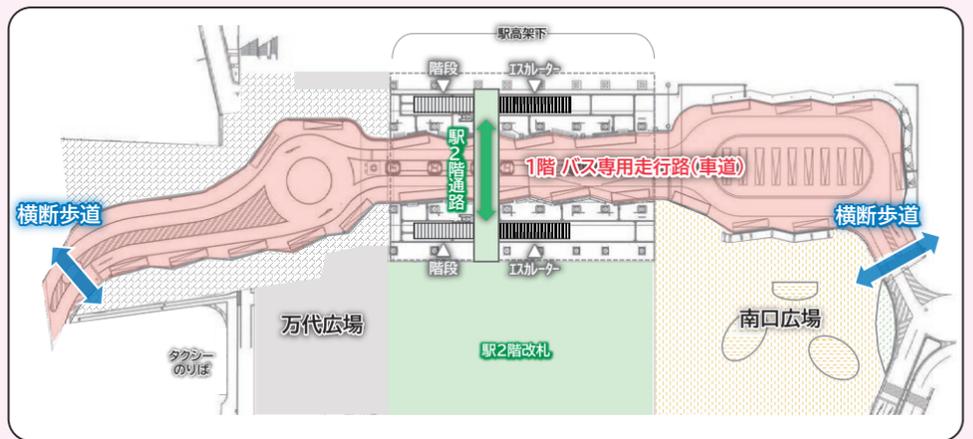


▲広場中央付近から駅舎方向を望む



！新潟駅バスターミナル内は歩行者の横断はできません

新潟駅バスターミナルの車道は、バス専用走行路となっているため歩行者の横断はできません。車道の横断は大変危険です。横断するときは、横断歩道か駅2階通路=下図=を利用してください。



いつでも受け取りの手続きができます

